

# 「美郷町」20年の歩み 平成24年度～平成25年度

## 心ひとつに明日を拓く 美郷中学校開校

千畑中学校、六郷中学校、仙南中学校の3校が統合し、六郷中学校の校舎を活用した「美郷中学校」が平成24年4月1日に開校しました。開校時の生徒数は539名でした。

生徒一人ひとりが協力し合い、切磋琢磨しながら成長することを願って、谷川俊太郎さん作詞の校歌の歌詞にもある「心ひとつに明日を拓く」を校訓としました。



## 皇太子殿下(現在の天皇陛下)が 千畑幼稚園・保育園を視察

平成24年6月1日、皇太子殿下が県内の事情視察の一環として本町を訪問し、全国初の認定こども園である千畑幼稚園・保育園を視察されました。

皇太子殿下は、保育園験に参加していた保護者に園や家庭でのこどもの様子や子育ての実情について質問。また、園児から泡で作ったケーキを手渡されると、笑顔でお受け取りになる場面もありました。



## 白色ラベンダー「美郷雪華」が品種登録

平成25年2月12日、町が農林水産省に品種登録を申請していた白色ラベンダー「美郷雪華」が品種登録されました。今回の登録により、美郷町がラベンダーのオリジナル品種を保有することになりました。



## 千畑小学校・仙南小学校開校

平成25年4月1日、千屋小学校と千畑南小学校が統合し、千屋小学校の校舎を活用した「千畑小学校」として、仙南東小学校、仙南西小学校、金沢小学校の3校が統合し、旧仙南中学校の校舎を活用した「仙南小学校」として開校しました。開校時の児童数は、千畑小学校が338名、仙南小学校が328名でした。



## 美郷町イメージキャラクター 「美郷のミズモ」に決定

町の魅力や特産品等を効果的に発信し、町のイメージアップにつなげようと、平成25年5月より町公式イメージキャラクターのデザインを募集しました。425点の応募があり、人気投票や選考会を経て、「美郷のミズモ」がイメージキャラクターに決定しました。

美郷町を象徴する「水」をモチーフに、胸からおなかにかけて美郷町のロゴマークをつけ、一度見たら忘れない見た目が特徴の「美郷のミズモ」。町の魅力を多くの人々に伝えるため町内外のイベントに出演するなど、多方面で活躍しています。



# 「美郷町」20年の歩み 平成26年度～平成27年度

## 美郷町合併10周年記念式典を開催

平成26年11月1日、美郷町合併10周年記念式典が美郷総合体育館リリオスで開催されました。当日は佐竹敬久秋田県知事をはじめ、町と連携・交流する自治体や大学、企業の関係者のほか、町民の皆さんなど約3,500人が出席しました。

また同日、同会場で美郷大使記念鼎談「美しき郷（さと）の輝く未来に向けて」を開催しました。松田町長を進行役に、美郷大使の方々が意見交換を行いました。さまざまな角度から、美郷町に対するご提言をいただきました。



## 「アクアJAZZフェスティバル in MISATO」が盛大に開催

芸術文化の祭典「第29回国民文化祭あきた2014」の開催に伴い、美郷町では「水」と「ジャズ」をテーマに「アクアJAZZフェスティバル in MISATO」を平成26年10月12日から13日にかけて実施しました。

13日には、美郷総合体育館リリオスで「JAZZ

コンサート」を開催し、県内外からビッグバンドが集結。また、世界的なジャズ・トランペット奏者である日野皓正さんが特別ゲストで登場し、美郷ジャズオーケストラのメンバーらと共演しました。



## 美郷町宿泊交流館ワクアス 美郷町屋内スポーツ館が同時オープン

平成27年4月1日、旧仙南東小学校の校舎を活用した「美郷町宿泊交流館ワクアス」が、旧千畑南小学校の体育館を活用した「美郷町屋内スポーツ館」がオープンしました。



## 美郷町歴史民俗資料館 佐々木毅記念室がオープン

平成27年10月1日、旧千畑南小学校の校舎を活用した「美郷町歴史民俗資料館」がオープンしました。また、館内の一室は佐々木毅記念室となっており、美郷町出身で元東京大学総長の佐々木毅さんの蔵書や論文原稿などが展示されています。



## 東京2020オリンピック・パラリンピック「ホストタウン」に美郷町が登録

平成28年1月26日、美郷町が東京2020オリンピック・パラリンピックの「ホストタウン」に登録されました。相手国はタイ王国で、人的、経済的、文化的な相互交流を図ってきました。